

834

極秘

情報局ノ組織ト機能

- 一、本書ハ情報局情報官ノ執務參考並ビニ各省ノ理解ト協力ヲ求メル目的デ編輯シタモノデアル
 二、本書

内閣文庫
八九五〇一号
和書



二
幼少ノ頃カラ家庭、社會、軍隊ヲ通ジテ一貫シタ躰育ヲ賜デ

合機關デアルコロニ、ワガ國トシテハ嚆矢デアル妙味アル行政機構デアツタノデアル。情報委員會ハ元來各廳

スル事項ヲ掌ル。

情報局ノ職務

之方解明ヲスル

ホ 戰況其ノ他ノ軍事報道

事變ノ遂行ト國防力充實ノ爲戰況其ノ他ノ軍事報道ヲ定例的ニ行ヒ國民ノ事變意識ト軍事思想ノ昂揚ヲ圖ル。

(二) 國策放送ノ實施方法

イ 國務大臣及情報局總裁ハ每週一回ヲ標準トシテ輪番放送スル

ロ 政府ハ毎日(除日曜)一定時刻(午後七時二十分)ニ各般ノ事項ニ關シ放送スル

情報局關係官、各省關係官等之ニ當ル

ハ 每週各一回陸海軍關係報道ノ時間ヲ設定シ陸海軍關係官之ニ當ル(火、木午後八時)

(三) 政府放送ノ實施ニ關スル連絡

政府ノ放送ニ關スルモノハ全部(含演藝音樂、實況放送等)事前第一第二第三課ニ連絡スル

(四) 政府ノ放送ニ對スル留意事項

イ 國民大衆ヲ對象トシテ效果ニ重キヲ置キ放送ノ方法時期等ニ付配意スル

ロ 講演放送ノ内容ハ努メテ具體的且平明ヲ旨トスル

四、海外放送ノ實施要綱

海外ニ對スル宣傳放送ハ皇國ノ世界政策實現上ノ思想戰タルコトニ留意シ、現下ノ時局ニ鑑ミ特ニ皇國ノ國力宣揚ニ重點ヲ置ク、但シ直接帝國ノ政治外交宣傳等ヲ行フコトノ不可能、或ハ直接カ、ル宣傳ヲ爲スコトノ却テ逆效果ヲ生ズベシト豫想サル、向キニ對シテハ專ラ文化宣傳ヲ通ジテソノ目的達成ニ資スル。

放送内容ハ地域ニ對スル重點ヲ考慮シ、國際情勢ノ推移ト睨ミ合セ最モ效果タル具體的施策ヲ講ズルモノトスル。

宣傳工作遂行ニ當リテハ同一目的ノ下ニ活動シツ、アル滿洲國、及臺灣ノ海外放送トモ密接ナル連絡ヲ保チ、更ニ中支廣播協會トモ協力スル。

五、東亞放送及國際放送ノ指導

滿洲、蒙疆、北支、中支、南支、臺灣、朝鮮、南洋等トノ中繼放送ノ企畫ニ關シ協力シ、特ニ日本ヨリ送出スル番組内容等ニ就キ放送局ヲ指導ス。更ニ近キ將來ニ於テ東亞放送ヲ擴充シ、タイ國放送局ヲモ之ニ參加セシムルコトニ努力スル。

伊太利放送協會トノ國際交換放送ハ曩ニ締結セラレタル日伊放送協定ニ準據シテ之ヲ行ヒ、一方獨逸放送協會トノ定期交換放送モ近ク實施セラル、豫定ナル處、是等國際定期交換放送實施ニ當リテハ日本ヨリ送出スル番組内容ニ就キ放送局ヲ指導スル外、世界各國ト不定期ニ行ハ

各部課ノ業務

ル、國際交換放送ニ際シテモ之ガ指導ニ當ル。

五〇

第三部

第三部ハ外務省主管事務トシテ外務省ニ保留セラレタル事項ヲ除キ、從來外務省情報部ニ於テ主管シ居リタル一切ノ事務竝ニ外務省文化事業部ニ於テ所管シ來レル事務ノ一部ヲ引繼ギ、帝國ノ基本外交政策ニ關スル對内外輿論ノ指導、其ノ他對外啓發宣傳ニ關スル事務、國內ニ於ケル外交及國際知識ノ普及ヲ目的トスル事務、竝ニ對外文化事業事務ヲ管掌シテ居ル。主管事務ノ性質上外務省ト極メテ密接ナル關聯性ヲ有シ、之レガ完全ナル遂行ノ爲ニハ兩廳間ノ緊密ナル連絡協力ガ必要ナルカラ、第三部係官ノ大部分ガ外務省兼官トナツテ居ル。

右ノ外放送ニ關スル事項、用紙統制ニ關スル事項、國際觀光局關係事務、外國圖書輸入統制ニ關スル事項等ニ關シテモ、對外宣傳啓發ニ關聯スル限り主管部課ト連絡シ、之レガ事務處理ニ關シ、連絡ノ必要程度ニ應ジテ或ハ係官ヲ幹事乃至委員トシテ連絡會ニ出席セシメ（例、用紙統制幹事會、圖書輸入審査委員會）或ハ兼任制度ヲ採用スル（例、國際觀光局）尙第一課第二課第三課ヲ通ジ常時密接ナル相互ノ連絡ヲ保チ每週各課情報官連絡會議ヲ催シ各課主管事務ニ關シ、重要ナルモノ及他ノ課ト關聯性アルモノヲ議題ニ供シ、事務ノ打合セヲナス。

各部課ノ業務

五一

一、外字新聞及外字通信ニ對スル政府發表ニ關スル事項

外字新聞及外字通信ニ對スル政府發表ハ第三部ノ主管スル所デアツテ發表文ノ英譯ハ第一課所管事項デアル。

邦字新聞及邦字通信ニ對スル政府發表ニ關スル事務ハ第二部ノ所管事項ナルモ、涉外事項ニ關スル限り第二部ト連絡ノ上便宜上第三部ニ於テ之レヲ管掌スル。

二、外字新聞及外字通信竝ビニ外國通信員ノ指導ニ關スル事項

第三部長ハ每週火曜金曜ノ兩日午前十一時ヨリ外人記者ト會見シ、時事問題ニ關スル説明ヲ行ヒ、記者團ノ質問ニ答ヘ、「ニュース」ヲ提供シ又ハ第三部長談ノ形式ニテ政府ノ見解ヲ闡明シテ外字新聞及外字通信ノ指導ヲナス。右定例會見ニ出席ヲ許サレタル外人記者ノ爲メ寫眞入ノ身分證明票ヲ發給スル。

議會開會中ハ連絡官ヲ議會ニ派シ、第二部ト連絡ノ上國際外交問題ニ關スル質疑應答報道ヲ指導ス。

三、部中他課ノ所管ニ屬セザル事項

會計、物品購入事務等ノ部内庶務、局内他部トノ聯絡ニ關スル事務、新聞切抜整理、部内圖書整理等ハ第一課ニ於テ管掌ス。

前掲國際觀光委員會關係事務ハ其ノ性質上主トシテ第一課之レニ關與ス

第二課ノ主管事務ハ外字出版物、映畫、寫眞、放送、「レコード」等ヲ通シテ行フ對外啓發宣傳ニ關スル事項及ビ邦字出版物竝ビニ講演ニ依ル國內ニ於ケル國際知識ノ普及指導ニ關スル事項デアル。

一、對外啓發宣傳ニ關スル事項

現在本邦ニ於テ刊行セラルル外字雜誌ノ數ハ百ヲ超ヘ之レガ指導統制ヲ圖ルコトハ極メテ緊要ナルヲ以テ第二課ニ於テハ其ノ指導對策ヲ立案シ之レガ實行ヲ期シ現ニ主要外字雜誌ノ編輯ヲ指導シテ居ル。

對外啓發宣傳映畫及寫眞、「レコード」其ノ他ノ製作及指導ニ關スル事項ハ第三部第三課ニ於テモ管掌シ居ルモ文化關係以外ノモノハ主トシテ第二課ニ於テ之レヲ主管シ、指導スル。即チ對外啓發宣傳用映畫寫眞等ヲ選擇蒐集シテ外務省ト連絡ノ上之レヲ外國ニ送り本邦事情紹介ノ目的ニ利用セシムルコトニ努ムル外、對外宣傳ニ適スル映畫寫眞等ヲ製作セシムル様關係方面

ルコト。

五六

(一) 内外學生交換派遣、招致

諸外國トノ學生交換、在本邦留學外國人學生ノ指導、獎學金交付、便宜供與、見學團ノ派遣招致等ノ助成監督スルコト

(二) 各種藝術ノ相互紹介、展覽會開催等

美術、文學、演劇、音楽、寫眞等本邦藝術ヲ海外ニ紹介スルト共ニ優秀ナル諸外國藝術ノ本邦紹介ノ爲ノ事業ニ對スル助成指導監督

(四) 映畫事業ノ助成指導

本邦國情ヲ諸外國ニ紹介スル目的ヲ以テ作成セラレタル所謂對外文化映畫製作ノ指導助成、輸出ニ關スル便宜供與ヲ行フ他右映畫製作ニ必要ナル「フィルム」ノ配給ニ關スル援助監督等ヲ行フ

(五) 各種出版助成

本邦文化ノ對外宣揚ニ資スベキ學術、藝術、産業、教育、日本語教授等ニ關スル圖書(新聞雜誌ヲ除ク)ノ出版、翻譯ノ助成指導等

(六) 各種文化資料ノ寄贈及交換

本邦文化ニ關スル出版物其ノ他ノ諸資料ヲ外國ノ大學、圖書館博物館其ノ他研究團體文化團體個人等ニ寄贈シ若クハ交換ヲナスコト。

(七) 國際文化事業團體ノ助成、監督指導

國際文化事業ハ其ノ性質上政府自ラ施行スルト共ニ其ノ監督指導ノ下ニ民間文化團體、個人ヲシテ實施セシムルコト有效ニシテ必要ナルコト多キニ鑑ミ民間ニ於ケル既存ノ對外文化事業團體ノ事業ヲ監督助成シ且獎勵スルコトトナシテ居ル。

右民間文化事業團體ニハ一般諸外國向國際文化事業ヲ行ヒオレル財團法人國際文化振興會、本邦留學外國人學生ノ保護善導ニ當リオレル財團法人國際學友會ヲ始メ各國別ニ設置セラレタ多數ノ文化協會ガアツテソノ事業ノ統制ヲ圖リ各々國策ノ向フ所ニ順應シ本邦文化ノ宣揚ヲ通ジ有效ナル對外的進展ニ寄與スルコトトナシテ居ル。

第四部

第一課

五八

主管廳ノ責任アル人々ノ執筆ヲ仰ギ、當課ニ於テ更ニ加筆修正ノ上、更ニ關係方面ノ校閲ヲモ求メテ掲載シテキルノデア

ツイテハ、主トシテ財團法人寫眞協會ニ委囑シ、同協會ノカメラマン

コ、デ、コレヲノ出版物ノ普及網ト内閣印刷局トノ關係ニツイテ説明

第五部

第一課

當課執務機構ヲ次

寫眞協會トハ

七〇

トニナツテキル。

從來我國ノコノ分野ニ於ケル文化政策ノ實施ガ不充分デアツタ爲ニ先ツ文化

(三) 社團法人日本ニュース映畫社關係事務

曩ニ内閣情報部ノ指導ノ下ニ各新聞社ノニュース映

モ同様ナ計畫ヲ持ツテ居リ、映畫教育ノ方面デ

(一) 大日本演劇協會(假稱)設立ノ事務

映畫ニ

○演藝關係

舞踊、漫才、浪曲、紙芝居等ニ關シテモ映畫、演劇ト同様ナ方針

ノ文化面諸團體ハ今直チニ啓發、宣傳ヲ實施スル迄ノ體形ヲ整ヘテキ

- 一、放送音楽、映画

フモノトガアル。

八六

喫緊ノコトト謂ハネバナラス、而モ急激ニ展開スル時

(一三) 思想戰講習會

ロ、其ノ他情報局ニ於テ特ニ適當ト認ムルモノ

例示
町内會長、部落會長、學校教員、團體幹部等
一、要項（一

ロ、申請書ヲ受理シタルトキハ第五部第四課ニ於テ當該主務官(外務關係、陸軍

四、情報局官制

(昭和十五年十二月五日
勅令第八百四十六號)</

五、情報局職員表

(昭和十六年四月十八日現在)

附錄第一

同盟通信社

四、業 態

(昭和十六年四月現在)

ル。

一〇六

